

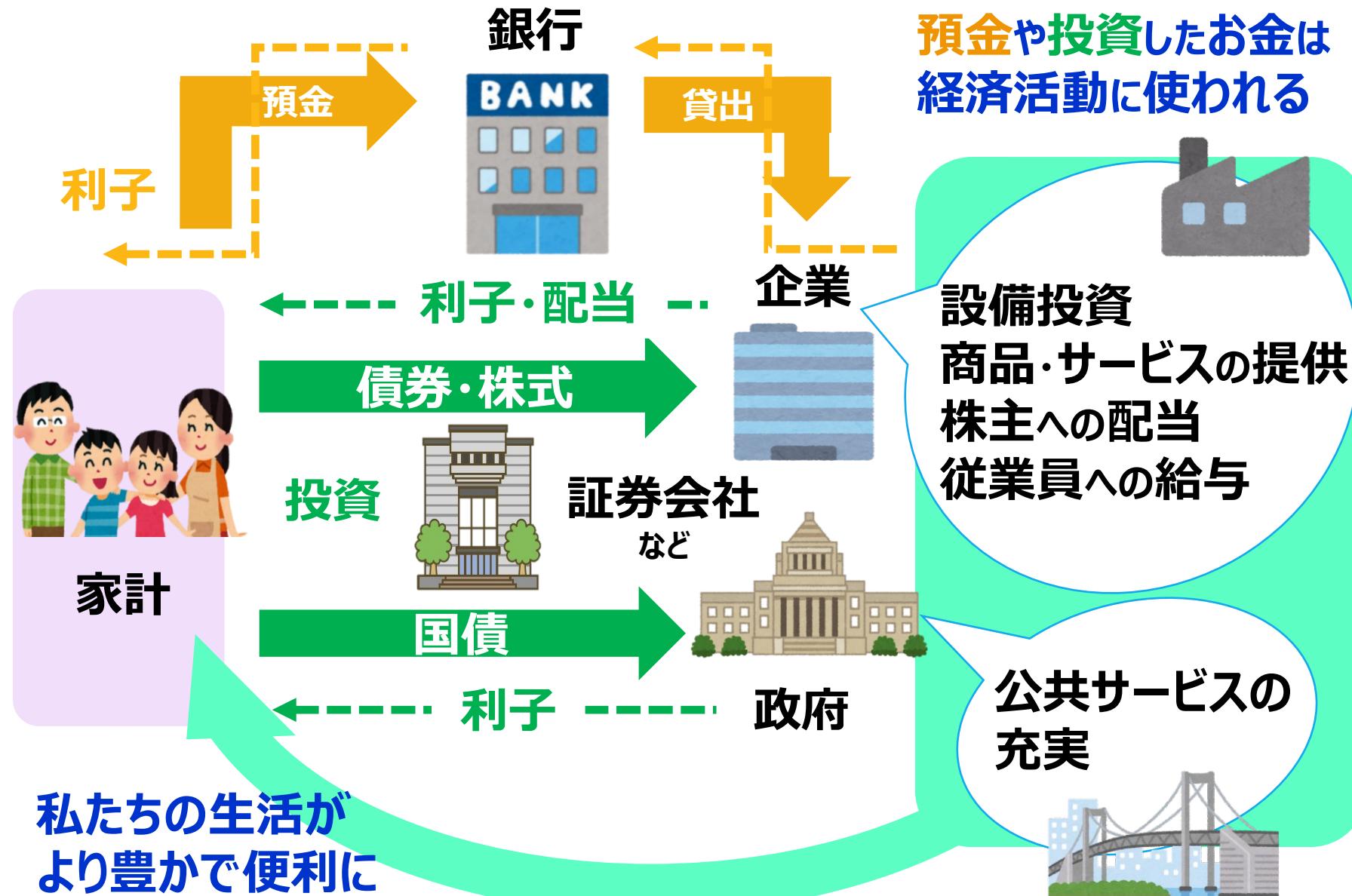


人生を豊かにするお金の知恵

資産運用 ～始める前に～

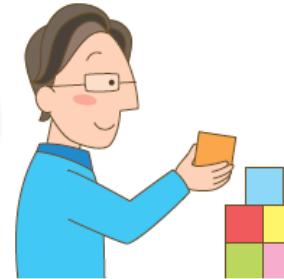
日本証券業協会
東京証券取引所
投資信託協会

経済活動と金融の関係



金融資産の運用には、「預貯金」と「投資」がある

預貯金



投資



- 貯めることを重視
- 元本保証など確実性を重視
- 運用成果（結果）は商品選択時に決まっている

- ふやすことを重視
- 元本保証はない
- 運用成果（結果）は期待できるが、予測できない

主な金融商品

普通預金

定期預金

積立定期預金

株式

債券
(国債・地方債など)

投資信託

金融商品の特徴は、 3つの観点からとらえる



元本(元手)や利子の
支払いが確実か



期待できる
収益の大きさか



必要なときにすぐに
換金できるか

	安全性	収益性	流動性
普通預金	○	△	○
国内株式	△	○	○
国内債券	○	○	△

3つとも ○の金融商品はない

* 金融機関が破綻した場合 *

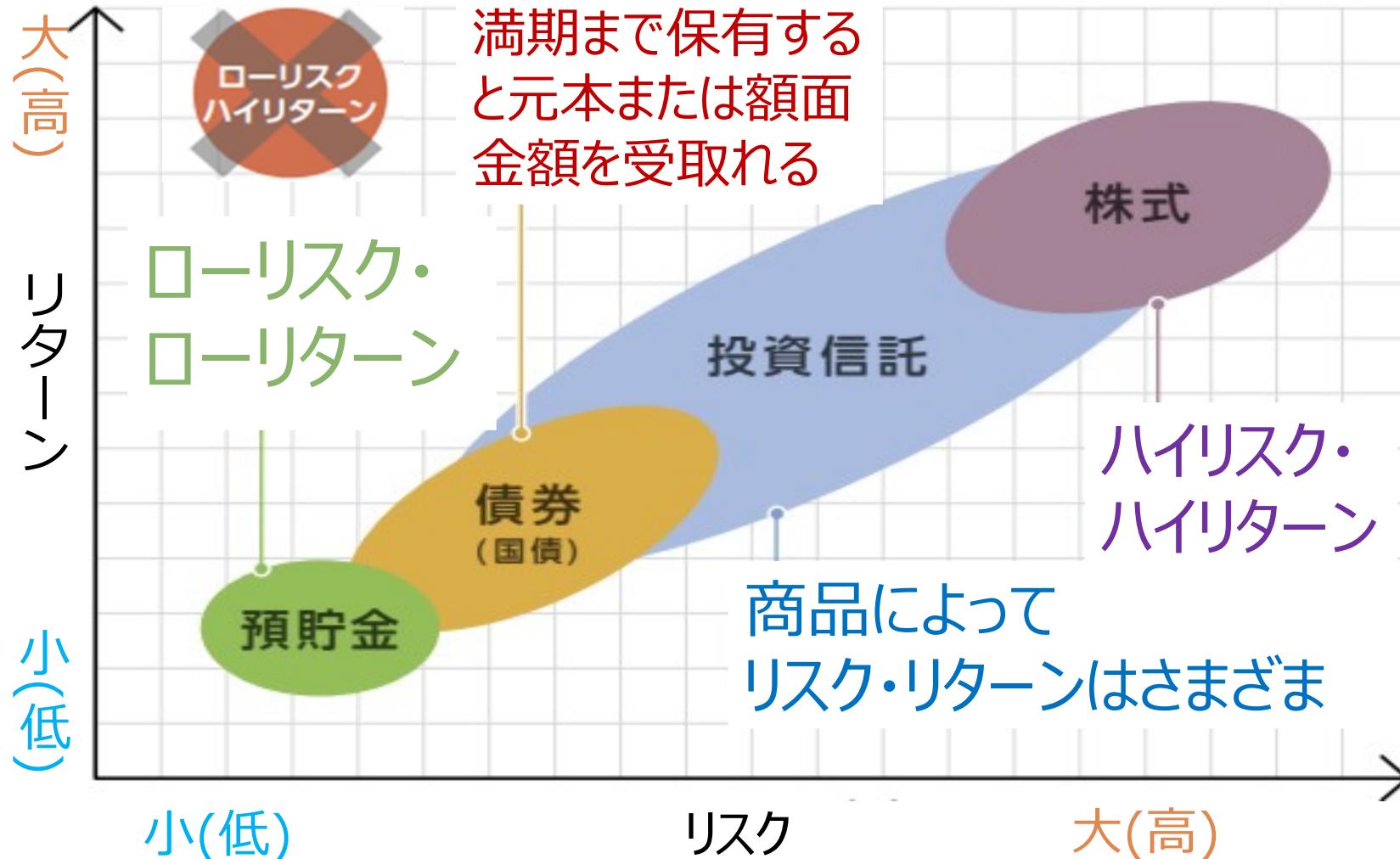
- 普通預金は**預金保険制度**により元本1,000万円（1金融機関ごとに預金者1人当たり）までとその利息等が保護
- 株式・債券は**分別管理**と投資者保護基金による補償の二重の制度によって保護

「リスク」という言葉の意味は、
「危ない」という意味だと思っていませんか？

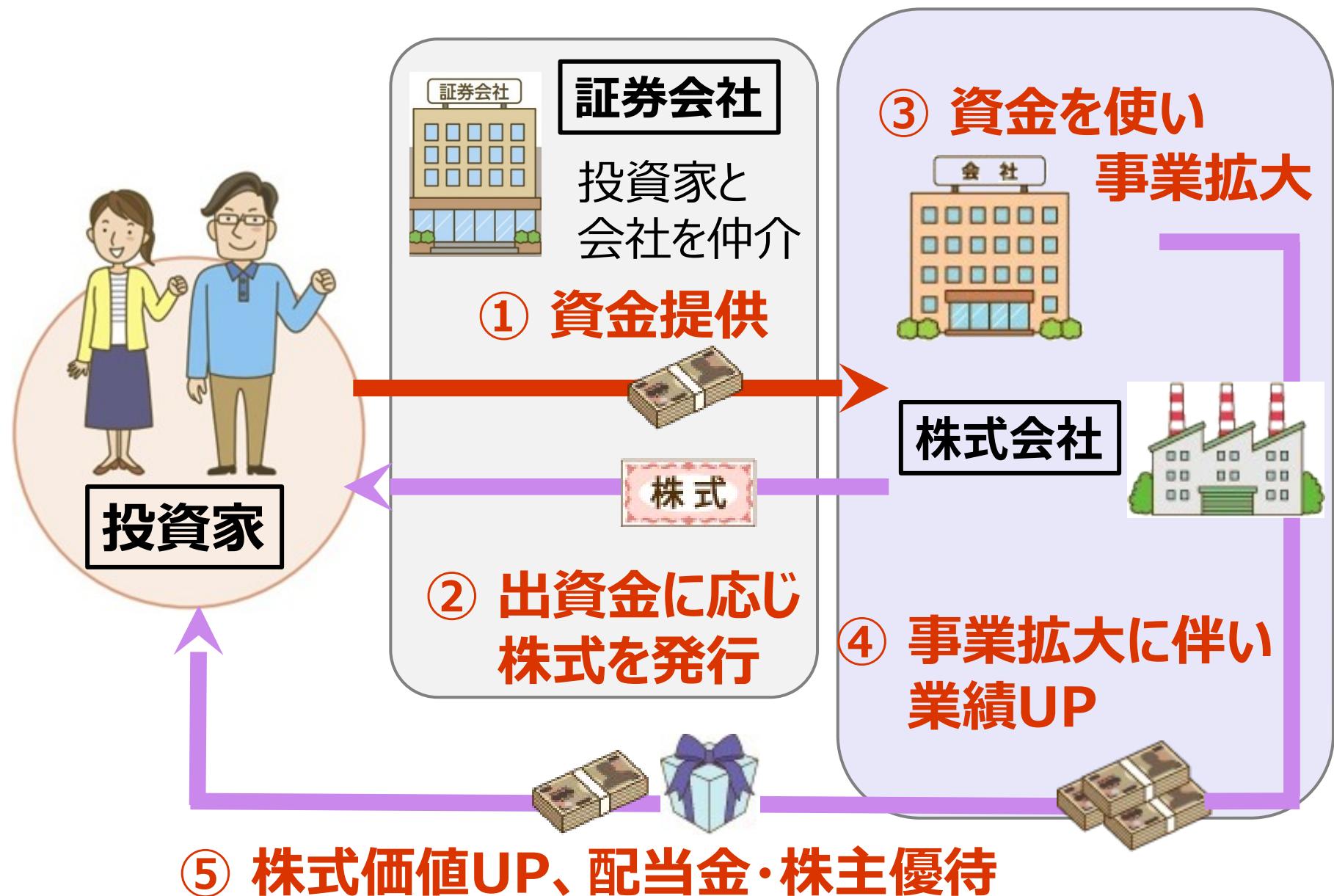
金融や投資の世界の「リターン」と「リスク」

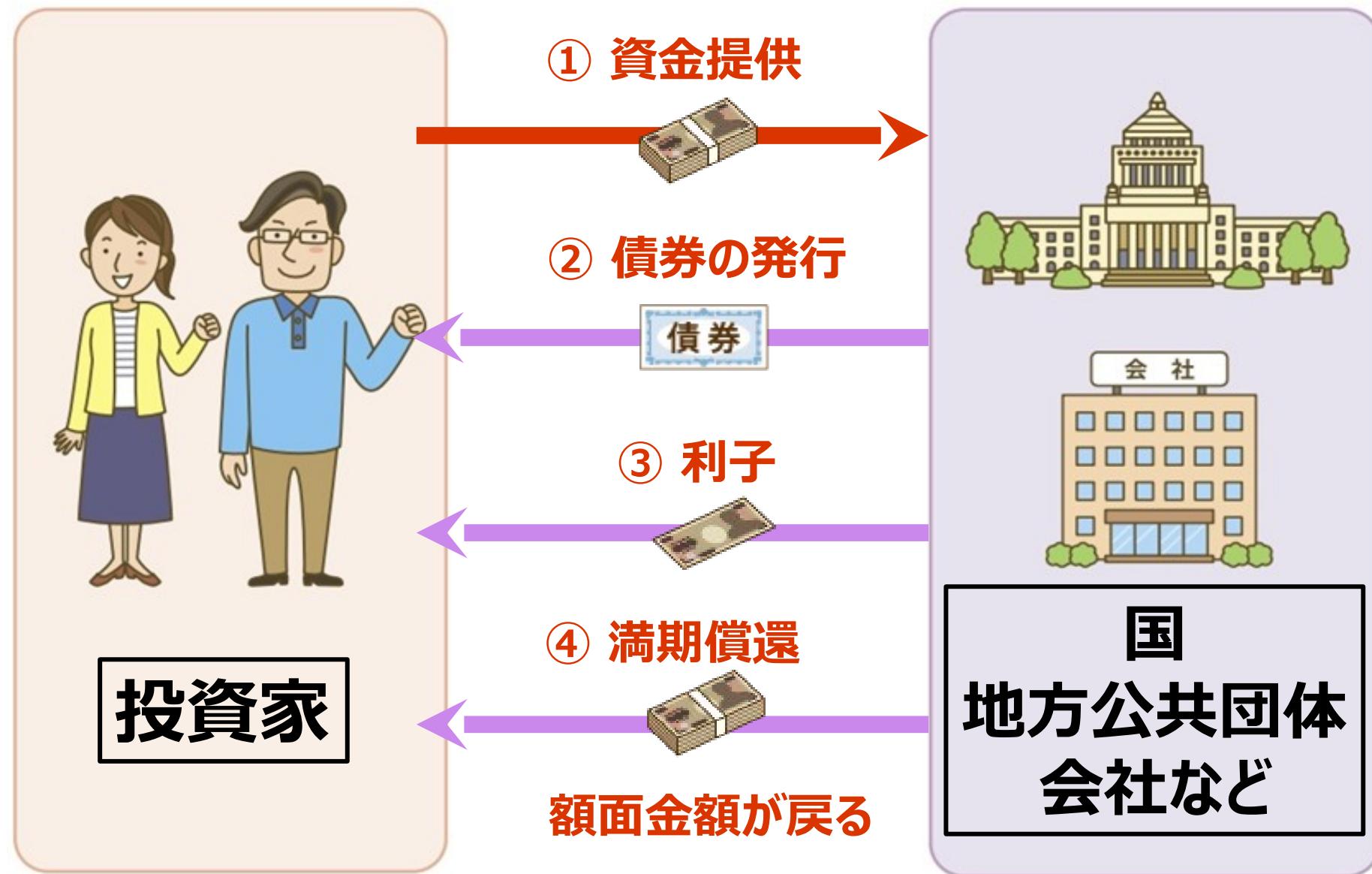
- 金融商品の「リターン」とは、「資産運用を行うことで得られる成果、収益・利益」のこと
- 金融や投資の世界の「リスク」とは、「リターンの振れ幅」のこと

「ローリスク・ハイリターン」の金融商品はない



※これは一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。





株式や債券などを組み合わせたパッケージ商品



パッケージ商品なので、
分散投資でリスクを軽減

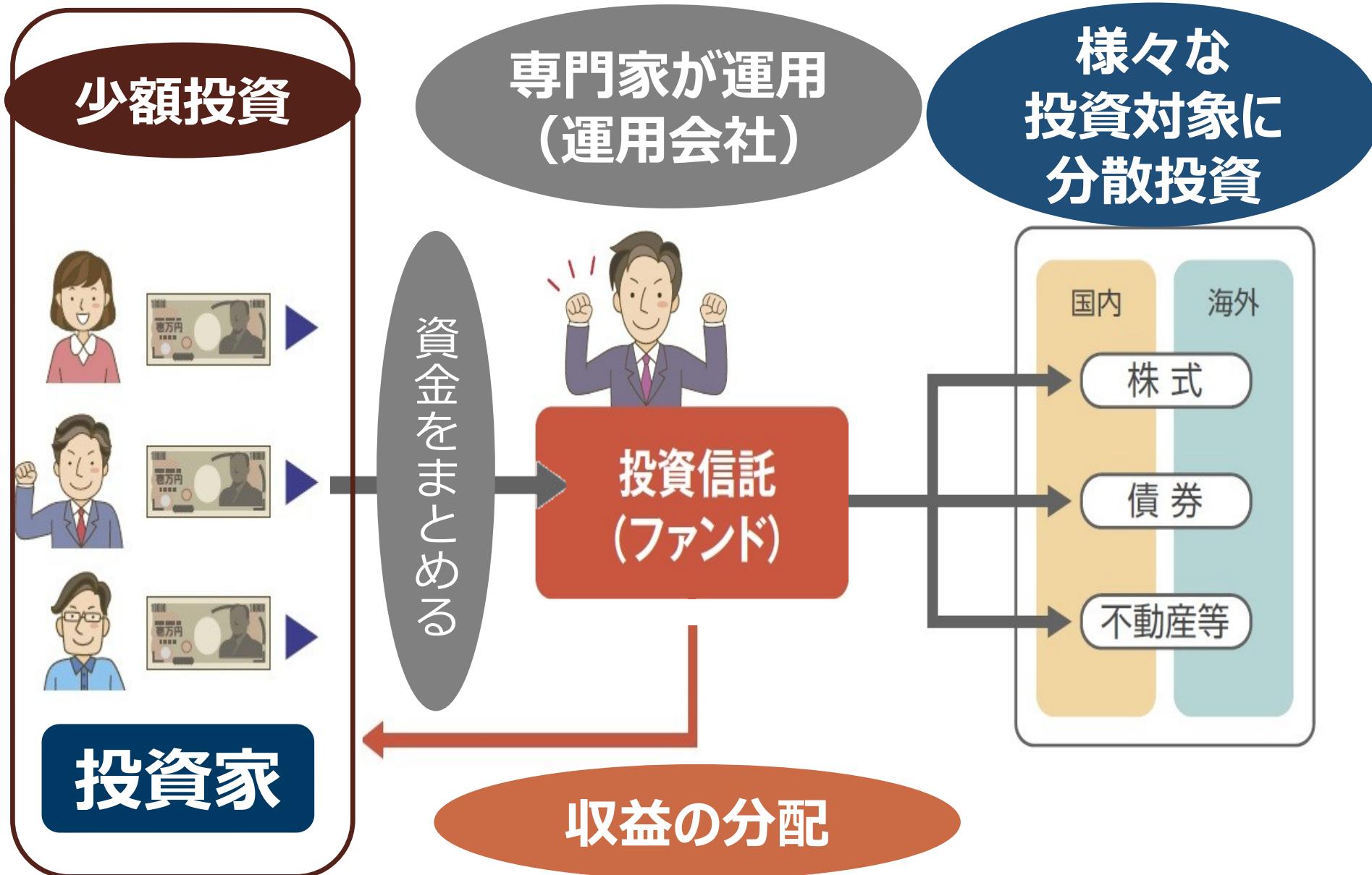


専門家に運用はお任せ

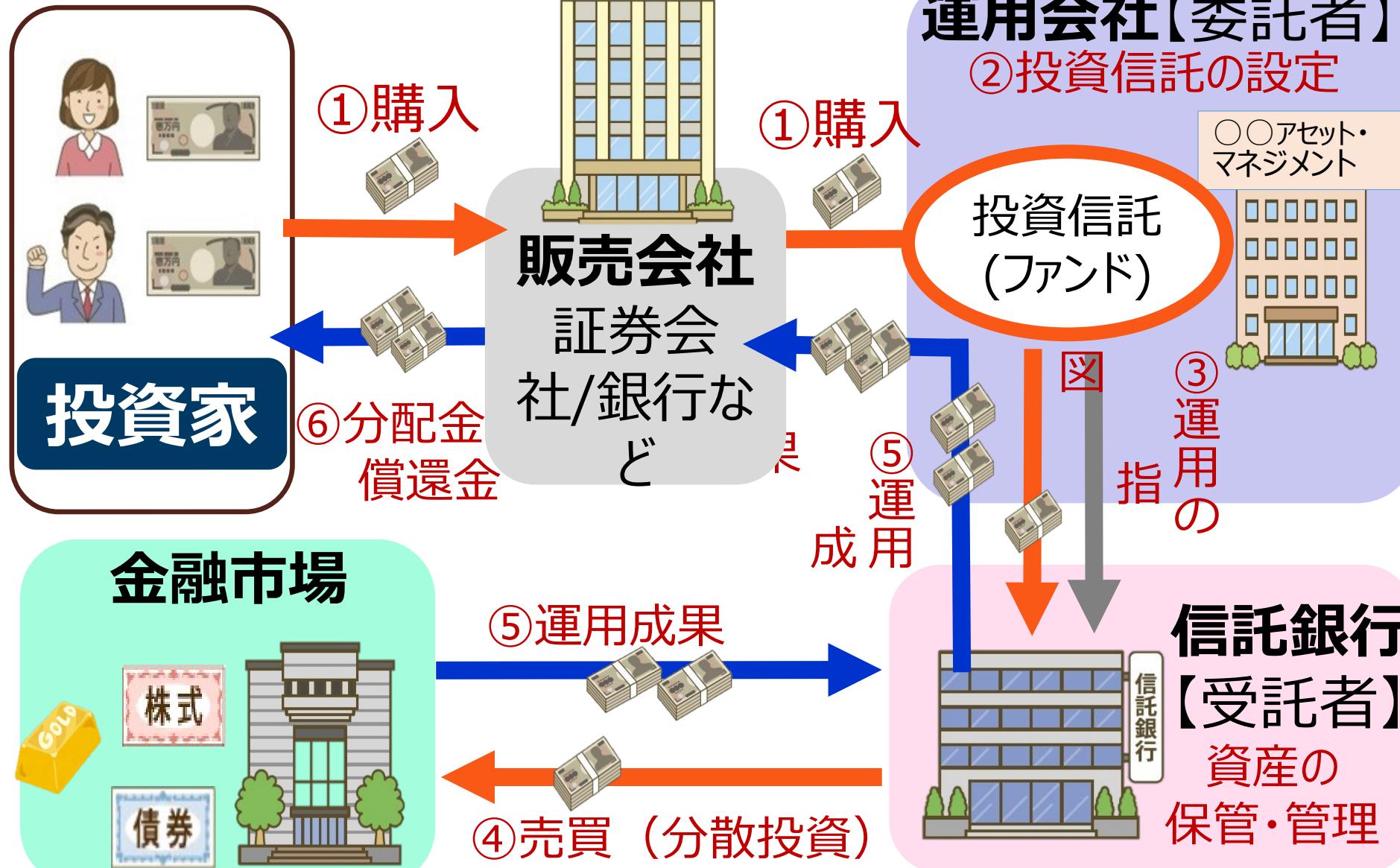


少額で投資可能
積立投資なら、500円や1,000円程度
からの場合も。

投資信託のイメージ



投資信託の仕組み



投資対象が何かを確認

投資地域



▼投資対象

債券

国内

国内債券

海外

海外債券

株式

国内

国内株式

海外

海外株式

不動産

国内

REIT

海外

REIT

その他(金など)

コモディティ (商品) など

バランス型

投資信託説明書（交付目論見書）でチェック！

重要情報の確認

どのように運用？

リスクは？

実績は？

※
コストは？

※ 主なコスト…購入時手数料、運用管理費用（信託報酬）
信託財産留保額（解約時の費用）、税金など

ポイント

理解できないものには投資しない

トータルリターンの通知制度

購入した投信の損益の全体を把握

- ✓ **金融資産の運用の手段には
貯めることを重視する預貯金と
ふやすことを重視する投資がある**
- ✓ **金融は経済成長や生活を豊かにするには
欠かせないもの**
- ✓ **投資のための商品には株式、債券と
それをパッケージにした投資信託がある**
- ✓ **ローリスク・ハイリターンの金融商品は
存在しない**